

放課後児童クラブQ & A

～放課後児童クラブで働くってどういうこと？～

● 放課後児童クラブって何をしているところ？

- 放課後児童クラブ（以後、児童クラブとします。）とは、昼間、仕事などで保護者が家にいない小学生を、放課後や夏休みなどに小学校敷地内などにある施設で預かって、生活や遊びの場を与える事業のことです。

● 児童クラブって、どんな人達が運営しているの？

- 倉敷市内の児童クラブは、地域の代表者などで組織される運営委員会や、法人事業者（社会福祉法人、NPO法人など）に市が運営を委託しています。

現在、市内には、全ての学区の児童を対象として、32の運営委員会・17の法人事業者により、65か所の児童クラブが開設されています。

● 児童クラブでは、どんな人が働いているの？特別な資格が必要なの？

- 放課後児童支援員（以後、支援員とします。）とよばれる人と、補助員とよばれる人が働いています。

支援員は、保育士や教員の資格を持っている人、高校を卒業して児童クラブなどで2年以上働いた経験のある人などで、県などが実施している研修を修了した人か、研修を修了する予定の人になります。

また、補助員は、支援員を補助する人で、特別な資格は必要ありません。どなたでも補助員になれます。

夏休みのアルバイトを探している学生さんや、短時間のパートを探している方など、どなたでも児童クラブで働くことができます。

● どういった人に児童クラブで働いてほしい？

- 児童クラブに興味がある人ならどなたでもOKです。特に、子どもと関わるのが好きで、将来子どもに携わる仕事に就きたいという方にとっては、実際に子どもと触れ合うとても良い機会になるのではないのでしょうか。

